

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科		
科目名称	文章表現の基礎						授業形態		演習	
科目コード	111650	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田中 利砂子								ICT活 用	○
授業概要	文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで「文章表現の基礎」では、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢・プレゼンテーション力を養成する。									
関連する科目	アカデミックスキル									
授業の進め方 と方法	・事前課題による予習に基づいて授業を進める。 ・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。 ・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。 ・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロフィールを使用する。									
授業計画 【第1回】	イントロダクション 現在の自分の文章表現力と、これから身につける必要のある文章表現力を認識する。									
授業計画 【第2回】	トレーニング 1 お知らせのメール メールの作成などを通して、情報を正確に伝えるために必要なことについて考える。メールの基本的な書式やマナーについて学ぶ。									
授業計画 【第3回】	トレーニング 2 レストランのメニュー 飲食店のメニューを題材に、たくさんの情報を整理し、見やすく示す方法について考える。									
授業計画 【第4回】	トレーニング 3 問い合わせのメール 問い合わせのメールを題材に、必要な情報を得るために留意しなければならないことについて考える。									
授業計画 【第5回】	トレーニング 4 注意書きやサービス案内 注意書きなどを題材に、重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法について考える。									
授業計画 【第6回】	トレーニング 5 お願いのメール 依頼のメールを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第7回】	トレーニング 6 お店やイベントの広告 広告を題材に、わかりやすく効果的にアピールするために必要なことについて考える。									
授業計画 【第8回】	トレーニング 7 わかりやすいマニュアル マニュアルを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第9回】	トレーニング 8 場所や交通の案内 場所や交通の案内を題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第10回】	トレーニング 9 企画や提案を出す 企画や提案を題材に、人の心に訴えかけるために必要なことについて考える。									

授業計画 【第11回】	トレーニング 11 アンケート用紙を作る 調査の目的を達成できるようなアンケート用紙の作り方について考える。
授業計画 【第12回】	トレーニング 13 日本語弱者のことを考えて書く 知識差・年齢差がある人のことを考えて書く際に配慮すべきことについて考える。
授業計画 【第13回】	トレーニング 14 レポートや論文を書く レポートや論文を題材に、アカデミックな文章を書く際の決まりや、客観的な文章を書くための方法について考える。
授業計画 【第14回】	トレーニング 15 自己アピールする 自分の人柄や能力を効果的にアピールするために必要なことについて考える。
授業計画 【第15回】	全体のまとめ これまでの学習を通して、どのような文章表現力が身についたかを振り返る。あわせてグループワークについても振り返る。
授業の到達目標	① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(2)】 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく【知識・理解を応用し活用する能力-(2)】【人間力、社会性、国際性の涵養-(2) (3) (5)】 ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(1) (2)】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロフィールも使用する。
評価方法・基準	・積極的な授業態度：10点 ・課題：20点 ・ポートフォリオ：30点 ・最終課題：40点
テキスト	野田尚史・森口稔(2014)『日本語を書くトレーニング(第2版)』ひつじ書房
参考書	野田尚史(2005)『くもっと知りたい!日本語>なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける!論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		管理栄養学科		
科目名称	文章表現の基礎						授業形態		演習	
科目コード	111650	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田中 利砂子								ICT活 用	○
授業概要	文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで「文章表現の基礎」では、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢・プレゼンテーション力を養成する。									
関連する科目	アカデミックスキル									
授業の進め方 と方法	・事前課題による予習に基づいて授業を進める。 ・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。 ・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。 ・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロフィールを使用する。									
授業計画 【第1回】	イントロダクション 現在の自分の文章表現力と、これから身につける必要のある文章表現力を認識する。									
授業計画 【第2回】	トレーニング 1 お知らせのメール メールの作成などを通して、情報を正確に伝えるために必要なことについて考える。メールの基本的な書式やマナーについて学ぶ。									
授業計画 【第3回】	トレーニング 2 レストランのメニュー 飲食店のメニューを題材に、たくさんの情報を整理し、見やすく示す方法について考える。									
授業計画 【第4回】	トレーニング 3 問い合わせのメール 問い合わせのメールを題材に、必要な情報を得るために留意しなければならないことについて考える。									
授業計画 【第5回】	トレーニング 4 注意書きやサービス案内 注意書きなどを題材に、重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法について考える。									
授業計画 【第6回】	トレーニング 5 お願いのメール 依頼のメールを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第7回】	トレーニング 6 お店やイベントの広告 広告を題材に、わかりやすく効果的にアピールするために必要なことについて考える。									
授業計画 【第8回】	トレーニング 7 わかりやすいマニュアル マニュアルを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第9回】	トレーニング 8 場所や交通の案内 場所や交通の案内を題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第10回】	トレーニング 9 企画や提案を出す 企画や提案を題材に、人の心に訴えかけるために必要なことについて考える。									

授業計画 【第11回】	トレーニング 11 アンケート用紙を作る 調査の目的を達成できるようなアンケート用紙の作り方について考える。
授業計画 【第12回】	トレーニング 13 日本語弱者のことを考えて書く 知識差・年齢差がある人のことを考えて書く際に配慮すべきことについて考える。
授業計画 【第13回】	トレーニング 14 レポートや論文を書く レポートや論文を題材に、アカデミックな文章を書く際の決まりや、客観的な文章を書くための方法について考える。
授業計画 【第14回】	トレーニング 15 自己アピールする 自分の人柄や能力を効果的にアピールするために必要なことについて考える。
授業計画 【第15回】	全体のまとめ これまでの学習を通して、どのような文章表現力が身についたかを振り返る。あわせてグループワークについても振り返る。
授業の到達目標	① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(2)】 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく【知識・理解を応用し活用する能力-(2)】【人間力、社会性、国際性の涵養-(2) (3) (5)】 ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(1) (2)】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロフィールも使用する。
評価方法・基準	・積極的な授業態度：10点 ・課題：20点 ・ポートフォリオ：30点 ・最終課題：40点
テキスト	野田尚史・森口稔(2014)『日本語を書くトレーニング(第2版)』ひつじ書房
参考書	野田尚史(2005)『くもっと知りたい!日本語>なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける!論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		宮崎キャンパス		開設学科		食品開発科学科		
科目名称	文章表現の基礎						授業形態		演習	
科目コード	111650	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	田中 利砂子								ICT活 用	○
授業概要	文章表現力は、大学においてはもちろん、社会に出てからも重要視される。そこで「文章表現の基礎」では、身近な素材を比較・検討しながら、大学生および社会人に求められる日本語表現技術の習得を目指す。さらに、社会人になるためには、「社会人基礎力」（「前に踏み出す力」「考え抜く力」「チームで働く力」）の習得も不可欠である。よって、授業内外における活動を通じ、主体性・深く考える力・チームで協力する姿勢・プレゼンテーション力を養成する。									
関連する科目	アカデミックスキル									
授業の進め方 と方法	・事前課題による予習に基づいて授業を進める。 ・毎回の授業の一部にグループワークを取り入れる。 ・グループワークで話し合いをし、その内容について発表する。 ・必要に応じて、課題提出やフィードバック等にUniversal Passportのクラスプロフィールを使用する。									
授業計画 【第1回】	イントロダクション 現在の自分の文章表現力と、これから身につける必要のある文章表現力を認識する。									
授業計画 【第2回】	トレーニング 1 お知らせのメール メールの作成などを通して、情報を正確に伝えるために必要なことについて考える。メールの基本的な書式やマナーについて学ぶ。									
授業計画 【第3回】	トレーニング 2 レストランのメニュー 飲食店のメニューを題材に、たくさんの情報を整理し、見やすく示す方法について考える。									
授業計画 【第4回】	トレーニング 3 問い合わせのメール 問い合わせのメールを題材に、必要な情報を得るために留意しなければならないことについて考える。									
授業計画 【第5回】	トレーニング 4 注意書きやサービス案内 注意書きなどを題材に、重要な情報を確実に伝えるための効果的な方法について考える。									
授業計画 【第6回】	トレーニング 5 お願いのメール 依頼のメールを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第7回】	トレーニング 6 お店やイベントの広告 広告を題材に、わかりやすく効果的にアピールするために必要なことについて考える。									
授業計画 【第8回】	トレーニング 7 わかりやすいマニュアル マニュアルを題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第9回】	トレーニング 8 場所や交通の案内 場所や交通の案内を題材に、読んだ人がスムーズに行動できる文章の書き方について考える。									
授業計画 【第10回】	トレーニング 9 企画や提案を出す 企画や提案を題材に、人の心に訴えかけるために必要なことについて考える。									

授業計画 【第11回】	トレーニング 11 アンケート用紙を作る 調査の目的を達成できるようなアンケート用紙の作り方について考える。
授業計画 【第12回】	トレーニング 13 日本語弱者のことを考えて書く 知識差・年齢差がある人のことを考えて書く際に配慮すべきことについて考える。
授業計画 【第13回】	トレーニング 14 レポートや論文を書く レポートや論文を題材に、アカデミックな文章を書く際の決まりや、客観的な文章を書くための方法について考える。
授業計画 【第14回】	トレーニング 15 自己アピールする 自分の人柄や能力を効果的にアピールするために必要なことについて考える。
授業計画 【第15回】	全体のまとめ これまでの学習を通して、どのような文章表現力が身についたかを振り返る。あわせてグループワークについても振り返る。
授業の到達目標	① 客観的な文章が書けるようになる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(2)】 ② 人の意見を聞く姿勢や自分の考えを人に説明する能力が身につく【知識・理解を応用し活用する能力-(2)】【人間力、社会性、国際性の涵養-(2) (3) (5)】 ③ 論理的に思考することができる。【汎用的技能を応用し活用する能力-(1) (2)】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(3)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(5)
授業時間外学習【予習】	使用教材の該当課を事前に読んで予習しておくこと。事前課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
授業時間外学習【復習】	授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理しておくこと。事後課題がある場合は、確実に遂行すること。(2時間程度)
課題に対する フィードバック	課題のフィードバックは、授業時に適宜行う。必要に応じてUniversal Passportのクラスプロフィールも使用する。
評価方法・基準	・積極的な授業態度：10点 ・課題：20点 ・ポートフォリオ：30点 ・最終課題：40点
テキスト	野田尚史・森口稔(2014)『日本語を書くトレーニング(第2版)』ひつじ書房
参考書	野田尚史(2005)『くもっと知りたい!日本語>なぜ伝わらない、その日本語』岩波書店 石黒圭(2012)『この1冊できちんと書ける!論文・レポートの基本』日本実業出版社
備考	特になし。

Minami Kyushu University Syllabus

シラバス年度	2026年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		子ども教育学科		
科目名称	文章表現の基礎						授業形態		講義	
科目コード	111650	単位数	2単位	配当学年	1	実務経験教員			アクティブ ラーニング	○
担当教員名	藤本 朋美								ICT活 用	○
授業概要	本授業は、大学におけるレポート作成の基礎となる文章表現力の習得を目的とする。具体的には、自分の関心に基づいて問いを設定し、その背景を明確にしたうえで、先行研究を参照しながら主張と根拠を組み立てる力を養う。。また、書く力の基盤としての「読む力」に着目し、モデル文や学術的文章を読み解く演習を通して、論理構成・根拠の用い方・表現の特徴を理解する。こうした読解と記述の往還を通して、序論・本論・結論から成る論理的な文章を作成し、推敲によって質を高めていくことを目指す。									
関連する科目	「アカデミックスキル」「子ども教育入門ゼミ」で学んだことを踏まえて講義を行う。 履修後は「国語」を履修することが望ましい。									
授業の進め方 と方法	毎回の授業において、演習形式の授業を行います。1回の授業構成は次のとおりです。 授業の前半では、教材文を読み、練習問題に取り組みます。【自身の知識・理解の確認】 後半ではグループディスカッション等にて、前半の学びを深めます。必要に応じて、レポートやプレゼンテーションにより自らの考えを表現します。【知識・理解の獲得】【汎用的技能の育成】 毎回の授業終了時には「学習の記録」を書き、自身の学びについて振り返ります。【態度・志向性の育成】 なお、毎時間後に作成する学習の記録はWeb 上で作成し、学習進捗の確認及びそのフィードバックを行います。 講義資料の提示・課題の提出は、ユニバのクラスプロフィール上で行います。									
授業計画 【第1回】	ガイダンス ・大学で求められる文章とは何か／問いから書くという考え方 ・読む演習：レポート例の比較（全体構造の把握）									
授業計画 【第2回】	問いの生成と選択 ・問いへの関心の言語化									
授業計画 【第3回】	問いの言い換え ・自分の言葉で書き直すとは何か ・読む演習：言い換えの具体例の分析									
授業計画 【第4回】	問いの精緻化 ・問いの3要素（主題・観点・目的）の整理									
授業計画 【第5回】	背景の記述① ・きっかけ・経験の言語化									
授業計画 【第6回】	背景の記述② ・課題意識と学びの意義の明確化 ・読む演習：問題提起が明確な序論の分析									
授業計画 【第7回】	先行研究の基礎 ・キーワード作成と文献検索／問いの位置づけ									
授業計画 【第8回】	主張の形成 ・問いから主張を導く／先行研究を根拠として用いる ・読む演習：主張と根拠の関係の読み取り									
授業計画 【第9回】	論理構成① ・主張と理由の整合性チェック（チェックリスト活用）									
授業計画 【第10回】	論理構成② ・序論・本論・結論の役割と結論の書き方 ・読む演習：構成の明確な文章の分析									

授業計画 【第11回】	文章表現① ・段落構成と分かりやすい説明
授業計画 【第12回】	文章表現② ・見出しの付け方と読み手を意識した構成 ・読む演習：段落・見出しの対応関係の分析
授業計画 【第13回】	推敲① ・論理・構成の見直し（相互検討）
授業計画 【第14回】	推敲② ・表現の改善と最終調整 ・読む演習：改善前後の文章比較
授業計画 【第15回】	学びの整理（相互評価） ・これまでの学習をもとに、伝わる文章の条件について考える ・チェックリストを用いて、文章を推敲する視点を総括する
授業の到達目標	1. 自分の関心に基づいて問いを設定し、適切に具体化できる 2. 問いに対応した背景（きっかけ・課題意識・意義）を論理的に説明できる 3. 先行研究の内容を要約し、自らの主張と関連づけて用いることができる 4. 序論・本論・結論の構成に基づき、主張と根拠の関係が明確な文章を書くことができる 5. 文章を読み分析した知見を活かし、推敲によって表現と構成を改善できる
学位授与の方針 （DP）との関連	2. 汎用的技能を応用し活用する能力-（2）
授業時間外学習【予習】	各回のテーマに関する自分の考えや経験の整理 指示された文章の読解（該当回のみ） 問いや背景の下書き作成 （1時間程度）
授業時間外学習【復習】	授業内で作成した文章の修正・書き直し フィードバックを踏まえた改善 文献メモの整理と要約の書き直し 読む演習で扱った文章の再確認 （1時間程度）
課題に対する フィードバック	予習課題は授業内で評価します。 レポートは評価後、返却し解説します。
評価方法・基準	学習への意欲的な取り組み（学習の記録）20点 レポート 30点 最終レポート 50点
テキスト	必要に応じて資料を配付します。
参考書	『新版 論理トレーニング』（2,200円＋税）野矢茂樹、産業図書 『はじめよう、ロジカル・ライティング』（1,600円＋税）名古屋大学教育学部附属中学校・高等学校国語科、ひつじ書房
備考	